

令和 6 年度県民総合体育大会 兼第 78 回国民スポーツ大会 軟式野球競技茨城県大会



主 催 茨城県・茨城県教育委員会
 (公財) 茨城県スポーツ協会

主 管 茨城県軟式野球連盟 県西ブロック支部
 茨城県軟式野球連盟 常総支部
 茨城県軟式野球連盟 結城支部

後 援 茨城新聞社

期 日 令和 6 年 6 月 8 日(土)・9 日(日)・15 日(土)

会 場 常総市石下球場・結城市鹿窪球場

大会使用球

KENKO BALL

競 技 役 員

| | | | | | |
|------------|--------------|---------|-------|-------|--|
| 大会 会 長 | 葉梨 衛 | | | | |
| 大会 副 会 長 | 山田 英雄 | 安達 和敏 | 下路健次郎 | 山口 達男 | |
| | 山崎 仁 | | | | |
| 大会 委 員 長 | 宮下 護 | | | | |
| 大会 副 委 員 長 | 篠崎 秀夫 | 田口 滋美 | | | |
| 大 会 委 員 | 中嶋 英策 | 岡田 芳和 | 石村賢二郎 | 宇田川光夫 | |
| | 駒井 勝男 | 早川 茂 | 郡司 友洋 | 根本 卓也 | |
| | 中村 浩一 | 皆川 容徳 | 関 光弘 | 早瀬 悦弘 | |
| | 高崎 稔 | 飯村 純男 | 芝田 和則 | 中田 勝昭 | |
| | 飯田 孝 | 為我井仁司 | 植木 優 | 小林 昭仁 | |
| | 石塚 正明 | 田崎 一夫 | 岡本 伸二 | 稲吉 繁勝 | |
| | 石川 澄夫 | 山崎 雄二 | 谷 嵩 剛 | | |
| 大会 審 判 長 | 妻木 克浩 | | | | |
| 大会 副 審 判 長 | 大橋 満男 | 鈴木 克彦 | 塚田 敦夫 | 塩ノ谷秀雄 | |
| 県連派遣審判員 | 鈴木 克彦 | 塩ノ谷秀雄 | | | |
| 審 判 員 | 茨城県軟式野球連盟審判員 | | | | |
| 放 送 委 員 | 宮本 貴子 | 松本 由佳 | 広瀬 愛 | 坪井 梨乃 | |
| | 吉田 亜衣 | 山崎 星南 | 岡野沙耶香 | | |
| 会 場 委 員 | 常 総 支 部 | 結 城 支 部 | | | |

令和6年度県民総合体育大会兼

第78回国民スポーツ大会軟式野球競技茨城県大会要項

- 1 主催 茨城県・茨城県教育委員会・公益財団法人茨城県スポーツ協会
- 2 主管 茨城県軟式野球連盟・茨城県軟式野球連盟県西ブロック支部 常総・結城支部
- 3 後援 茨城新聞社
- 4 期日 令和6年6月8日(土)・9日(日)・15日(土)、予備日16日(日)
- 5 会場 常総市石下球場(常総市鴻野山1670番地)
結城市鹿窪球場(結城市大字鹿窪1番地)
- 6 参加チーム 各地区代表16チーム(県北4、中央4、県南4、県西4)
- 7 出場資格 公益財団法人全日本軟式野球連盟規程第6条第1項第1号、規程細則第3条第2項及び第5条各号の規定によるチームで、予選会において出場権を獲得し、かつ所属支部長の推薦を受けたチームであること。
- 8 大会規律 不正出場その他規律違反に対しては、公益財団法人全日本軟式野球連盟規則及び茨城県軟式野球連盟規則により処理する。
- 9 適用規則 2024年公認野球規則、競技者必携、茨城県軟式野球連盟特別規則及び競技運営に関する取り決め事項を適用する。
- 10 大会使用球 公益財団法人全日本軟式野球連盟公認球 ナガセケンコーボールM号
- 11 大会出場に要する経費
出場に要する経費は全額チーム負担とする。
大会参加料は30,000円とする。
参加料については、原則、組合せ決定後の棄権は徴収する。
- 12 優勝チームは、8月24日から山梨県で開催される第78回国民スポーツ大会軟式野球競技関東ブロック予選会に、11月1日から茨城県で開催される水戸市長旗第32回東日本軟式野球選手権大会にそれぞれ出場する。また、準優勝のチームは、8月24日から茨城県で開催される岡部旗争奪第36回茨城県軟式野球選手権大会に出場する。
- 13 その他 ①「野球規則」、「競技者必携」は、試合当日必ず持参すること。
②ユニフォームに背番号(0~99)及び左袖に県名(茨城・字体は随意)をつける。
③大会参加の際は、運転免許証等、本人を確認できるものを持参すること。
- 14 連絡先 大会前 篠崎秀夫：携帯電話 090-1667-9859
駒井勝男：携帯電話 090-4712-2490
大会中 常総市石下球場 稲吉繁勝：携帯電話 090-4374-1751
結城市鹿窪球場 谷寫 剛：携帯電話 090-2301-0035
- 15 態度決定 当日が雨天の場合は午前6時30分に態度決定をする。
問合せは、上記連絡先のとおりとする。

茨城県軟式野球連盟特別規則

(令和6年2月24日)

| クラス | 大会名 | 正式試合 | 試合成立回数 | 延長戦 | タイブ레이크方式 | 得点差コールド (以降) | 試合時間 |
|---------------|-------------------------------------|------|--------------|-------------|----------|-----------------|--------|
| 一般 ※委託事業別途 | 天皇賜杯 国体 | 9回戦 | 5回暗黒・降雨・試合時間 | 3回(12回迄) | 無制限 | 5回10点・7回7点 | 3時間00分 |
| | | 9回戦 | 5回暗黒・降雨・試合時間 | 3回(12回迄) | 無制限 | 5回10点・7回7点 | 2時間30分 |
| | 東日本 高松宮 | 7回戦 | 5回暗黒・降雨・試合時間 | 直ちにタイブ레이크方式 | 無制限 | 5回7点 | 2時間00分 |
| | | 7回戦 | 5回暗黒・降雨・試合時間 | 直ちにタイブ레이크方式 | 無制限 | 5回7点 | 2時間00分 |
| 学童 | 全日本学童 ノーブルホームカップ あゆみ杯 県スポ少 | 6回戦 | 5回暗黒・降雨・試合時間 | 直ちにタイブ레이크方式 | 無制限 | 4回10点 5回7点 | 1時間30分 |

- 1 第2試合以降のメンバー交換は、前の試合の4回終了時とする。学童部においては、前の試合の3回終了時に攻守を決定する。
- 2 一般、壮年・熟年、学童大会については、投手に指名打者ルールを採用することができる。学童部については、二刀流選手を採用しない。
- 3 特別継続試合について…[参考：競技者必携「競技に関する連盟特別規則 4 特別継続試合」]
 暗黒及び降雨などで、5回以前に中止になった場合、または5回を過ぎ正式試合になって同点で試合が中止の場合は、翌日の第1試合に先立って特別継続試合を行う。
- 4 特別継続試合の再開について…[参考：競技者必携「競技に関する連盟特別規則」]
 ① もとの試合が中断された箇所から再開する。
 ② 両チームの出場者と打撃順は、試合が中断されたときと全く同一でなければならぬ。ただし、規則によって認められる交代は許される。
- 5 次の試合のバッテリーのブルペン使用について…[参考：競技者必携「競技運営に関する注意事項11」]
 次の試合の先発バッテリーは、シートノックがある場合でも、メンバー交換後、ブルペンを利用して投球練習をすることができる。
- 6 学童の投球制限について
学童部の投球制限(1日70球以内)は、県大会の1回戦からとし、4年生以下が出場した場合は学年で判断(4年生以下60球以内)する。支部及びブロック予選は主催支部内での取り決めとする。
- 7 試合時間と試合成立回について
 ① 一般の部(一般、壮年、熟年)の試合は、上記の表に定める試合成立回(5回)を過ぎ、同表に定める試合時間を経過した場合には新しいイニング(延長イニングを含む。)に入らない。(試合時間が過ぎた場合でも、試合成立回の5回までは行う。)
 なお、その時点で同点の場合は、引き続きタイブ레이크方式で行う。
 ② 学童の試合は、健康維持を考慮し、上記の表に定める試合時間を経過した場合は、試合成立回の5回終了以前でも試合が成立したものとみなし、新しいイニングには入らない。なお、その時点で同点の場合は、引き続きタイブ레이크方式で行う。

競技運営に関する取り決め事項

- 1 チームは、試合開始予定時刻の1時間前までに球場に到着し、本部から打順表を受け取ること。
- 2 ベンチは、組み合わせ番号の若い方を一塁側とする。
- 3 第一試合のチームは、試合開始予定時刻の30分前までに、監督または主将が打順表（選手登録簿に記載されている選手全員を記入する。）を本部へ提出し、登録原簿と照合を受けた後、審判員立会いのもとに攻守を決定し、直ちにシートノックに入る。態勢が整っている時は、試合開始予定時刻前でも試合を開始する。

なお、その日の第一試合に出場するチームは、外野地域に限り練習することを認める。その際アップ用服装（同一が望ましい）でもよいが、打順表提出時には全員ユニフォームに着替えシートノックに備えること。
- 4 組み合わせ表にある試合開始時刻はあくまでも予定であり、第二試合以降のチームは、予定時刻の60分前までに集合し、大会本部へ到着を報告すること。試合開始予定時刻になって会場に到着しない（選手が9名集まらず、遅れて到着する時）場合は棄権とみなす。

注. 試合当日の人数

 - ・県大会（申込み）の登録人数は10人以上とすること。不可能な場合は出場できないこととする。ただし、試合については9人でも可とする。怪我人等により試合継続が不可能となった場合はその時点で没収試合とする。

前試合の4回（学童3回）終了時、打順表（県連指定）6部を本部に提出し、登録原簿と照合を受けた後、審判員立会いのもとに攻守を決定する。試合開始時刻に関係なく、前の試合が終了次第シートノックを行うので、終了挨拶の間にグラウンドに入り、ベンチ横の外野側に用具を置きキャッチボールを行う。
- 5 シートノックは5分間以内とする。ただし、大会運営上シートノックは行わずに試合を開始することもある。この場合は攻守決定時に通知する。また、ノッカーは選手と同一のユニフォームでなければならない。なお、捕手は捕手用ヘルメット・プロテクター・レガーズ・ファウルカップを必ず着用すること。ダードサークル内に入る補助員と左右ファウルゾーンからの外野ノックの補助員はヘルメットを着用すること。
- 6 打者・走者・ベースコーチもヘルメットを着用すること。
- 7 ベンチ内での電子機器類（携帯電話、パソコン等）の使用を禁止するが、電子スコア記録用として1台の使用を認める。また、電子スコア記録用の机・椅子1組の持ち込みを認める。但し、球場に常備されていない場合に限る。指示用メガホンは、ベンチ内に限り1個の使用を認める。
- 8 攻守交代時に、最後のボール保持者は、投手板にボールを置いてベンチに戻ることに。
- 9 球場でのフリーバッティングは禁止する。トスバッティングは認める。
- 10 監督・コーチ等が投手のところへ行く回数の制限。
 - ・捕手または内野手が、1試合に投手の所へ行ける回数は、3回以内とする。なお、延長戦（タイブレーク方式を含む）となった場合は、1イニングに1回行くことができる。
 - ・野手（捕手を含む）が投手の所に行った場合、そこへ監督がいけば双方1回として数える。その逆の場合も同様とする。投手交代の場合は、監督またはコーチのみ回数には含まない。

・監督またはコーチがプレーヤーとして出場している場合は、投手のところへ行けば野手として1度と数えるが、協議があまり長引けば、監督またはコーチ等が投手の所へ1度行ったこととし通告する。

・攻撃側のタイムは、1試合3回以内とする。なお、延長戦（タイブレーク方式を含む）となった場合は、1イニングに1回とする。

1 1 次打者は、投手が投球姿勢に入ったら素振りをしてはならない。投手も必ず次打者席に入ること。これらを実行すること。

1 2 ベンチに入れる人数は、ユニフォームを着用した選手25名以内（壮年の場合は21名以内）とする。チーム代表者（責任者）、マネージャー、スコアラー、トレーナー（有資格者）は各1名とする。

※1 学童チームの合同チーム編成は、6年・5年・4年で10人に満たない場合と5年生・4年生で10人に満たない場合は合併を認める。前記の10人を満たないで、茨城県軟式野球連盟及び（公財）全日本軟式野球連盟に登録も可とするが、予選大会に出場する時点で、10人に満たない場合は合同チームを編成することができる。また、この場合、チーム名の混在・ユニフォームの混在を認めるが背番号は重複しないこと。

※2 ※1以外の合同チームは、ユニフォームを統一すること。

※3 熟年県大会の年齢制限については、県大会優勝チームの全日本シニア軟式野球大会（次年度5月開催）出場を考慮し、支部予選及び茨城県大会時での出場資格を4月1日現在で満49歳以上の者とする。

1 3 学童部の大会においては、熱中症対策として保護者2名までがベンチに入ることができる。

1 4 用具、装備およびユニフォームは、（公財）全日本軟式野球連盟規程細則第12条で定めるものを使用、装備、装着すること。スパイクの色は自由とし、全員同色でなくても構わない。

1 5 茨城県軟式野球連盟特別規則および取り決め事項に定めがない場合は、（公財）全日本軟式野球連盟「競技運営に関する注意事項」「競技に関する連盟特別規則」等（競技者必携参照）を準用する。

令和6年度県民総合体育大会兼 第78回国民スポーツ大会軟式野球競技茨城県大会

期日：令和6年6月8日(土)・9日(日)・15日(土)、予備日16日(日)
会場：常総市石下球場・結城市鹿窪球場

